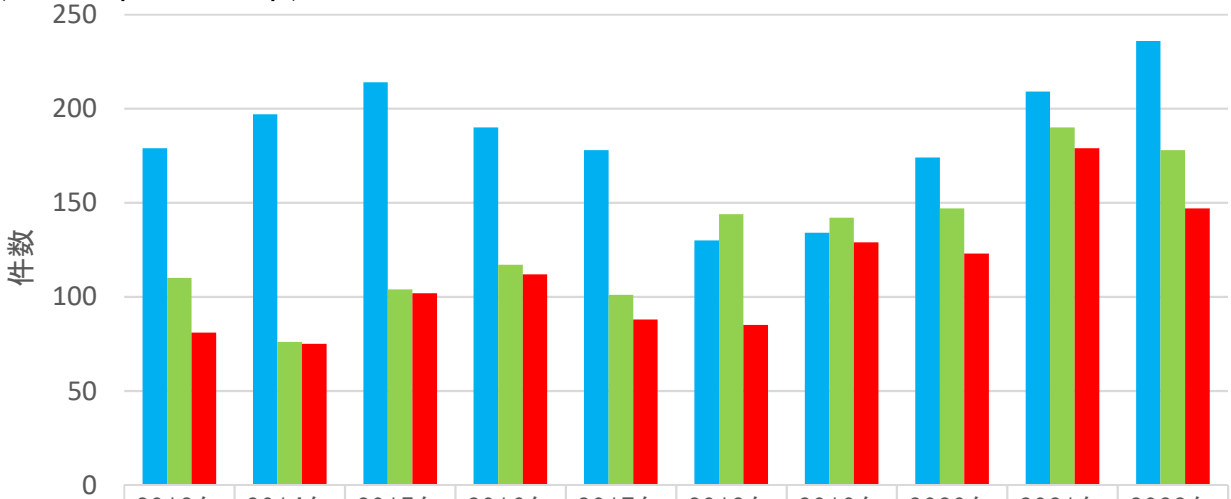
治療実績

当センターにおけるこれまでの治療実績です。

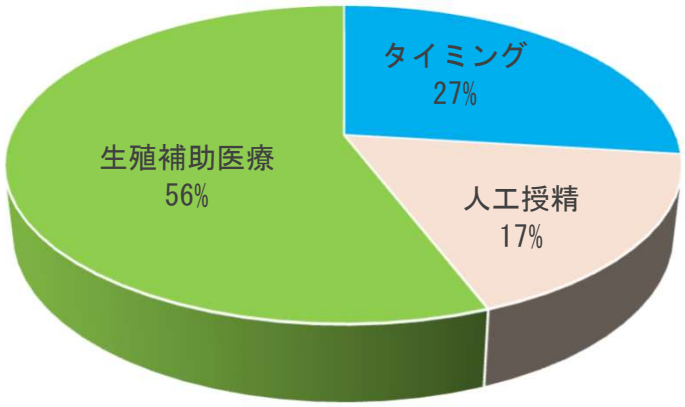
I.　年別の人工授精・採卵・凍結融解胚移植件数の推移
（ 2013年～2022年）



	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
人工授精件数	179	197	214	190	178	130	134	174	209	236
採卵件数	110	76	104	117	101	144	142	147	190	178
胚移植件数	81	75	102	112	88	85	129	123	179	147

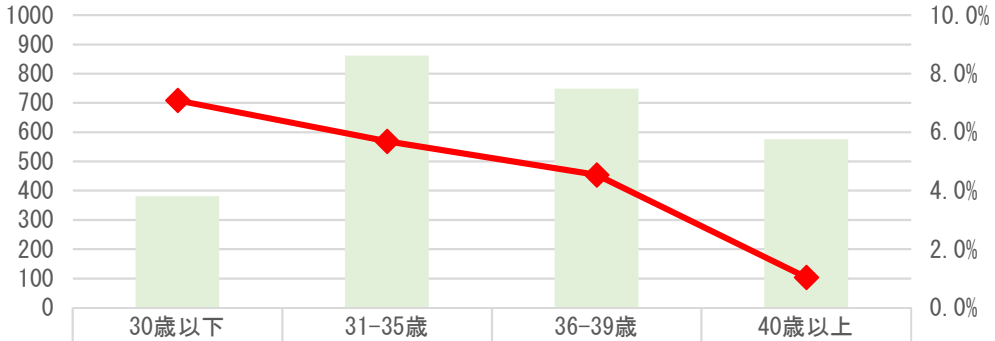
2022年度は、薬剤供給不足により前年度に比べ胚移植件数が減少しております。

II.　妊娠された患者さんにおける治療方法の内訳
（ 2012年～2022年）



妊娠された患者さんの内訳は、一般不妊治療（タイミング療法と人工授精）が半数、生殖補助医療（体外受精・顕微授精・胚移植）が半数となっています。

III. 人工授精の臨床妊娠率（ 2008年～2022年）



	30歳以下	31-35歳	36-39歳	40歳以上
周期数	381	861	748	576
臨床妊娠率	7.1%	5.7%	4.5%	1.0%

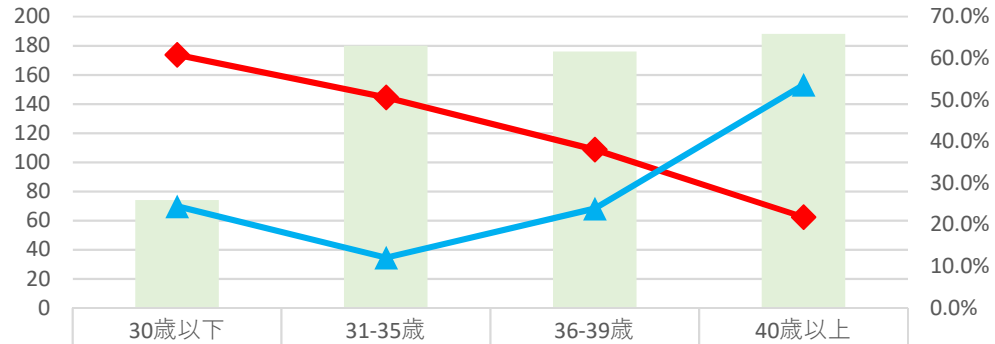
人工授精の臨床妊娠率は、年齢の上昇に伴い低下します。特に40歳以上では顕著に低下するため、早期のステップアップを提案しています。
※臨床妊娠とは、子宮内に胎嚢を確認出来た妊娠です。

IV. 体外受精にステップアップした症例の人工授精回数
（2020年1月～2023年4月）

初回採卵時妻年齢	30歳以下	31～35歳	36～39歳	40歳以上	総計
初回採卵件数	49	74	57	40	220
人工授精回数	1.57	1.92	1.44	1.33	1.61

人工授精から体外受精にステップアップした方の人工授精回数は、平均1.61回でした。不妊原因や女性年齢に応じてステップアップを提案しています。

V. 融解胚移植の臨床妊娠率（ 2018年6月～2022年）



	30歳以下	31-35歳	36-39歳	40歳以上
移植周期数	74	180	176	188
臨床妊娠率	60.8%	50.6%	38.1%	21.8%
流産率	24.4%	12.1%	23.9%	53.7%

融解胚移植においては、年齢の上昇に伴い臨床妊娠率は低下し、流産率が上昇します。